

水筒(ゴムパッキン)のお手入れをしましょう！

梅雨のこの時期、ジメジメして蒸し暑い日が多くなります。気温が上がり湿度の高いこの季節は、細菌が最も活動しやすい環境です。そこで、毎日持ち歩く水筒のチェックをしてみましょう。特にチェックしてほしいところは「ゴムパッキン」です。黒くなっていたら、それは「黒カビ」です。ゴムパッキンは水分が乾きにくく、飲み物のカスや口を付けた際の菌が付着しやすい場所です。それでいて洗う時にいちいち外して洗うのがちょっと面倒くさいですね。でもそれが洗い残しの蓄積となり黒カビの原因となってしまいます。水筒にカビが生えてしまうと、衛生的に心配ですね。健康に悪影響を及ぼす恐れもあるため、こまめにお手入れをしましょう。



【毎日のお手入れ】

- 帰宅したら、なるべく早く洗います。(黒ずんでいなければ食器用洗剤でOK)
- 必ず、分解して洗います。ゴムパッキンも毎回外します。
- 洗ったら、しっかり乾かします。
- 週に一回は酸素系漂白剤でつけ置き洗いを習慣化しましょう。



《黒カビがついてしまっている時のお手入れ法3つ》

- その1 酸素系漂白剤を40～50°のお湯にゴムパッキンを1～2時間つけ置き洗い。
- その2 重曹大さじ1とお酢100mlを混ぜて、ゴムパッキンに噴霧30分放置。その後歯ブラシなどでこすり洗い。
- その3 塩素系漂白剤(キッチンハイターなど)を水で薄め、5分程度浸けたら、洗い流す。



それでも落ちないときは…

思い切ってゴムパッキンを買替えましょう。

清潔な水筒で安心して毎日の水分補給をしましょう。

